

第 3 回桶川市振興計画審議会の開催結果

〈実施結果概要〉

【開催日】令和 4 年 2 月 2 6 日（土）

午後 2 時から午後 4 時 1 5 分まで

【開催場所】本庁舎 会議室 4 0 2

【出席委員】1 1 名 ※ 1 名欠席

【役 職】会長：大沢委員（学識経験）

副会長：水村委員（教育委員会委員）

【傍聴者】1 名

【諮問事項】桶川市次期振興計画基本構想について諮問

【審議等】

- ・第 4 回審議会では、第 3 回審議会での意見等を踏まえ整理された資料を基に、基本構想の理念等について何を残していくべきか、何を変えていくべきか、引き続き議論する。

【その他】

- ・次回の審議会日程

第 4 回 4 月 1 6 日（土）9 時 3 0 分から

第 5 回 5 月 1 4 日（土）9 時 3 0 分から

別記様式（第3条関係）

会議録（1）〈要約〉（案）

会議の名称	第3回桶川市振興計画審議会
開催日時	令和4年2月26日（土） （開会）午後2時00分、（閉会）午後4時15分
開催場所	桶川市役所 会議室402
主宰者の氏名	企画財政部企画調整課
議長の氏名	大沢会長
出席者氏名 （委員）	水村副会長、岩崎委員、新島委員、岡安委員、井上委員、秋山委員、和久津委員、中村委員、吉田委員、永井委員
欠席者氏名 （委員）	澁谷委員
説明員氏名	企画財政部企画調整課、ランドブレイン株式会社
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 川邊部長、本庄副部長 企画調整課 向井課長、篠原係長、野原主任、木戸主任、須賀主事
会議事項	議 題
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 概要説明 （1）第2回審議会の結果について 3. 議事 （1）次期基本構想策定に向けたスケジュールについて （2）次期基本構想策定に向けて 4. 事務連絡等
	決定事項等
	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回審議会では、第3階審議会での意見等を踏まえ整理された資料を基に、基本構想の理念等について何を残していくか、何を变えていくべきか、引き続き議論する。 ・今回の審議内容についてご意見がある場合は、3月4日（金）までに事務局へ連絡する。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回総合振興計画審議会会議録・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1 ・第五次総合振興計画 後期基本計画の達成状況・・・・・・・・・・資料2 ・第五次総合振興計画 土地利用構想の進捗状況・・・・・・・・・・資料3 ・転入転出者アンケート結果概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料4 ・市民意識調査クロス集計資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料5 ・中学生まちづくりアンケート実施結果概要・・・・・・・・・・資料6 ・基本構想策定までのスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料7 ・桶川市第五次総合振興計画基本構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料1

会議録(2)

議事の経過	
発言者	発言内容
2 概要説明 (1) 第2回審議会の結果について	
事務局	資料1～資料6に基づき、事務局より説明。
委員	<p>市民意識調査の結果をみると、災害や子育てへの関心が高いようです。本市は大宮台地に位置し、地盤がよく災害に強いので、その点をアピールした方が良いと思います。【意見】</p> <p>また、病院の開設については、地域毎に病床数が設定されているため、桶川市に病院を開設することは難しいと伺っています。現在の地域医療の考え方は、軽度の症状の場合は、かかりつけ医で診察を受け、必要があれば病院で受診するといった流れになっています。こういった地域医療の充実や病院との連携強化を説明していく必要があると思います。【意見】</p>
委員	<p>資料2 p1の「101協働の推進 ②協働のまちづくりが進んでいると思う市民の割合」について、令和2年度未実施であるため、令和元年度の達成状況から「B」と判定している点は理解できますが、p5「305地域福祉の推進 ①民生委員における地域福祉活動件数」について、令和2年度の活動件数が減少し「D」と判定しています。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大で民生委員の訪問等も控えられたと考えられます。令和元年度までは目標を達成しているにも関わらず、令和2年度の結果で「D」と判定して良いのでしょうか。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルスの影響により達成できていないものがあることは、承知しています。公民館の利用者数など他にも新型コロナウイルスの影響を受けたものがあります。総合振興計画は令和2年度が最終年度となっているため、令和2年度を基準とし、一定のルールに基づき評価しています。</p>
委員	<p>新型コロナウイルスの影響など、やむを得ない事情があった場合、その年度を除いて判断するという選択肢があっても良いと思います。【意見】</p>
委員	<p>民生委員について、新型コロナウイルスの感染が拡大している期間は、なるべく見守り訪問を控えていました。このため、令和2年度は活動件数が少なくなっています。</p>
会長	<p>評価については、基準年を変えてしまうと恣意的なものを受け止められてしまう可能性もあります。一方、コロナ禍での評価となり様々な捉え方ができると思いますが、市としては、計画最終年度の令和2年度を基準とせざるを得ない部分もあります。</p> <p>新型コロナウイルスの直接的な影響が明らかなものについては、その旨を明示するなど、読み手が分かるよう工夫していただくようお願いします。</p>
委員	<p>資料6の中学生まちづくりアンケートについて、回答率が89.8%となっていますが、Web回答はよく行われているものなのでしょうか。</p>
事務局	<p>当課としては、初めて実施しました。小中学生にタブレットPCが配付されているため、このようなスタイルも増えてくるように感じています。</p>
委員	<p>資料6 p5 設問、桶川市が好きな理由で、「楽しく遊べる場所があるか</p>

	ら」という回答が一番多いです。「楽しく遊べる場所」が広場や公園のことを指すのか、屋内施設を指すのか、どのように捉えていますか。
事務局	アンケートの設問は、13～14歳の子ども達に負担なく直感的に回答してもらえるように設計したため、子ども達が考える「楽しく遊べる場所」がどんな場所なのかまで設問としておらず、把握できていません。
会長	「楽しく遊べる場所」は、子ども達の居場所と言い換えることもできると思います。自宅、職場でもない居心地のよい第3の場所として「サードプレイス」といった表現が使われます。今後、ワークショップやワールドカフェを実施する際に、ひとつの切り口として、市民が想うサードプレイスについて掘り下げてみるのもよいと思います。【意見】
委員	資料2で達成状況をまとめていますが、p14には施策の満足度と充実希望度の関係で分布図が示されています。この分布図は市民意識調査の結果で、前頁までの達成度評価とは直接リンクしていないということでしょうか。また、達成度評価と市民意識調査の結果に何か相関関係があれば、ご説明ください。
事務局	分布図は、市民意識調査の結果を定量的に図化しています。分布図のプロットの傾向と達成度評価の達成状況との相関を見出すのは難しいところですが、各施策のうち、子育て、学校教育、防災・防犯、生活道路など住環境、商業振興、医療福祉については、充実希望度が高い傾向にあります。
委員	市民の意識と施策の達成度が乖離しているところもあると思います。その溝をどのように埋めていくのかは、次期計画の検討の際に重要な視点になると思います。【意見】
会長	施策の達成度と市民意識との乖離については、市民ニーズに沿った諸施策を立案する際に重要な視点です。次期総合振興計画では、留意して策定してほしいと思います。【意見】
委員	資料5の市民意識調査のクロス集計について、濃淡で色分けして、1位と2位を表現していますが、例えば、p24にある「10年後の桶川市がどのようなまちであってほしいか」については、1位と2位が「医療機関や保健サービスが充実しているまち」と「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」となっています。回答数でみると大きな差はありませんが、1位と2位の濃淡に差があり、視覚的に大差があるように見えてしまいます。僅差の場合は、一目で分かるようにしていただくと良かったと思います。今後の資料作成の際は工夫してください。【意見】
会長	ご指摘いただいた点につきましては、ご意見として承ります。今後、事務局で資料作成をする際に、配慮していただければと思います。 その他、気づいた点や分からない点がなければ、議事に進みたいと思います。今後、何か疑問等があれば、3月4日（金）までに事務局へご連絡ください。

会議録(2)

議事の経過	
発言者	発言内容
3 議事	(1) 次期基本構想の策定に向けたスケジュールについて (2) 次期基本構想策定に向けて
事務局	資料7・参考資料1に基づき、事務局より説明。
会長	<p>基本構想について、参考資料1のp32に土地利用構想図、p33には、基本構想の全体像を示しています。これを踏まえ、「引き続き残していくべきもの」や「新たに付け加えた方がよいもの」など、今後何を大切にしておくべきか、委員の皆さんの想いやイメージをいただければと思います。</p> <p>冒頭に委員からご意見のあった、医療や防災については非常に重要です。来年は、関東大震災発生から100年を迎えます。また、スペイン風邪の流行も約100年前に起きています。最近では、令和元年に台風19号の風水害がありました。日本は災害が多く、防災について、常に念頭に置く必要があります。人々の命を守るため、医療や防災は、重要な視点になると思います。</p>
委員	<p>防災について、桶川市は大宮台地に位置し、比較的災害が少ない土地であることを情報発信していく必要があります。【意見】</p> <p>また、かかりつけ医と病院との連携など、地域医療について、説明していく必要があります。【意見】</p> <p>子育て支援について、桶川市は18歳まで医療費を無償化しています。この点についても情報発信していく必要があります。【意見】</p> <p>また、未来へのまちづくりとして「生きる力」、「生き生き」、「安心」、「暮らしやすい」、「活力」、「将来」、「希望」などのキーワードが考えられますが、「美しい人間関係」が、これからのキーワードになると考えています。【意見】</p> <p>世界的に有名な心理学者アドラーは、「人間の全ての悩みは対人関係にある。「美しい人間関係」を築くことが幸福になる唯一の方法である」と言っています。Googleをはじめ、生産性の高いチームは、心理的安全性が高いという結論が出ています。相手を尊重することが、大切ということです。この考え方は、まちづくりの基本になる部分です。【意見】</p>
会長	<p>防災や医療は、地域生活にもっとも身近な要素であり、今後のまちづくりにおいても重要な視点です。</p> <p>また、北京オリンピックでも、カーリング競技をはじめ、チームワークの強さが勝利に影響しているように思います。人口減少、少子高齢化が進展し、地域が縮小していく中、より良い人間関係を築くことも地域生活の幸福度の向上につながると思います。</p>
委員	<p>基本理念の一つに「人と自然が共生するまち」というものがありますが、世界的に注目されている「ゼロカーボン」や「SDGs」といった概念をいれていくと良いと思います。【意見】</p>
副会長	<p>本審議会では、基本構想の柱となる基本理念、将来像、施策の大綱を検討していくこととなります。第五次総合振興計画の策定から10年が経過し、これから先の10年を見据えた議論が必要となります。この中で、まちづくりの基本姿勢となる基本理念がもっとも重要であり、この部分から議論していく必要があります。</p>

	<p>まず、基本理念について、委員の皆様のご同意をいただき、次に施策の大綱、将来像という順で議論していただくのが良いと思います。【意見】</p> <p>この基本理念については、第五次総合振興計画の策定当時、どのような議論を経たのか教えてください。</p>
事務局	<p>第五次総合振興計画は、平成21年度から平成22年度にかけ、策定作業を行いました。当時の時代背景や市民会議等による議論などを経て、5つの基本理念にまとめています。</p> <p>将来像については、圏央道の開通等が予定されており、広域交通網の結節点として市が発展していくという時代背景や5つの基本理念を踏まえ、整理しました。施策の大綱についても、基本理念を受け「教育・文化」、「健康・福祉」など7つの分野に整理しています。</p> <p>参考資料1のp21に基本理念の説明がございます。こちらをご覧ください、現在と本市の10年後を見据え、ご意見を頂戴できればと思います。</p>
委員	<p>基本理念は、まちづくりの基本姿勢であり、一貫性が求められると考えています。10年が経過していますが、変える場合には、当時との状況変化を整理する必要があります。</p> <p>第五次総合振興計画の策定当時から世の中で何が変わったのかという視点で考えると、当時あまり普及していなかった概念としては、「SDGs」や「ゼロカーボン社会」などがあります。こういった新機軸に対し、現在の基本理念で内包するのか見極めていけば良いと思います。【意見】</p> <p>今後、予定されている高校生ワークショップでは、SDGsネイティブ世代の高校生達から良い意見がでるのではないかと期待しています。</p>
委員	<p>現在の基本理念を大きく変えるのは難しいと思います。</p> <p>これから桶川市も人口減少時代に入っていきます。市内に住む若い方々に対しての定住、また、子育て世代には、新たに転入していただけるような施策を推進する必要があります。【意見】</p> <p>資料6中学生アンケートでは、p9設問7の「桶川市に住み続けたいかどうか」について、約30%の中学生が「桶川市外に住みたい」と回答しています。一方、資料5市民意識調査の結果p24の10年後の桶川市について、「医療機関の充実」に次いで、「子どもが育つ環境や教育環境が良いまち」が2位となっています。この結果は、未来を担う子どもたちに対する願いが表れているのだと思います。この視点を基本理念で表現できると良いと思います。【意見】</p>
会長	<p>本日は、委員の皆様から「SDGs」や防災など、基本理念に関するキーワードをいただければと思います。他にご意見はありますか。</p>
委員	<p>基本構想は、10年間の計画となり、将来像を描きながら長期的なプランで考える必要があります。持続可能といった視点で、環境が世界での共通課題となっていますが、世界では紛争が絶えません。本市は桶川飛行学校平和祈念館がありますので、平和という視点も織り込んでよいと思います。【意見】</p>
委員	<p>このまま石油など化石燃料の使用を続けると、地球温暖化により、人間は地球上で生活できなくなってしまいます。世界規模で再生可能エネルギーへの転換に取り組み、身近なところでは、電気自動車の普及が進んでいます。まちづくりを考える上で「持続可能」という概念が一層大切になっ</p>

	ています。また、急激な社会変化を踏まえ「誰一人取り残さない」という考えも大切です。【意見】
委員	基本理念で、桶川市の特徴をキーワードとして入れられないでしょうか。「桶川市はこういうまちです」といえるもの、「人と自然が共存するまち」といった桶川市のカラーを出すようなものがあると良いと思います。【意見】
会長	桶川市を一言でいえるキーワード、「子育てするなら流山」ということで、流山市は認知されています。プロモーションの視点で「これといえば桶川だよ」というものがいいと思います。
委員	人口減少を見据えた生産性の向上や持続可能という視点から、「デジタル化」や「グリーン化」がキーワードになると思います。【意見】
会長	「デジタル化」は、デジタル技術により都市の課題を解決し、新しい価値を創出するといった「スマートシティ」という捉え方もできます。
副会長	昨今の「デジタル化」や「DX」について、産業界では10年前は、水素自動車も開発を進めており、電気自動車がここまで認知され、普及するとは想像していませんでした。ここ最近の5年くらいで、急激に電気自動車にシフトしてきました。トヨタが実証都市として静岡県裾野市に「スマートシティ」の建設を進め話題となっていますが、10年後は当たり前の中になっていると思います。技術革新がまちづくりに与える影響について、視野を広げて考えていけると良いと思います。【意見】
会長	変化する10年になると考えられるため、活性化の観点として「デジタル化」を入れても良いかもしれません。
委員	人口減少に起因し経営資源が減少していくため、一人の稼げる能力を2倍、3倍にし、生産性を向上させる必要があります。現状8時間の労働を4時間とし、残りの時間で新しいことに取り組むことができる社会環境が、イノベーションにもつながり、理想だと思います。【意見】
副会長	今後、高齢化が一層進むため「高齢者がしっかり働けるまち」などの視点も必要だと思います。【意見】
会長	「アクティブシニア」が増えています。その方々が活躍できることは重要です。健康であり幸福につながる、「健幸」になれるのが桶川だとアピールしても良いと思います。【意見】
委員	資料6 中学生アンケートでは、p5 設問5の桶川市を好きな理由として「楽しく遊べる場所があるから」という意見が多いですが、「子どもの遊び場」について、公園なのか、室内のゲームなのか、今の若い世代の遊び場がどこにあるのか把握が難しいです。 タブレットで勉強したり、家庭内でゲームをしたりしているイメージがあります。子どもたちの居場所・遊び場所がどこにあるのか、また、子どもたちの遊び場をどのようにすれば良いのか、考えていく必要があります。【意見】
会長	中学生まちづくりアンケートの結果では、桶川市以外に住みたいと回答している中学生も多くいます。持続可能なまちづくりの視点として、未来の桶川を支える子ども達が、ずっと住み続けたいと想ってもらえることが重要です。 「ずっと住み続けたいまちづくり」の視点を総合振興計画の中で示し、関連諸計画も含め、体系的に取り組んでいく必要があります。【意見】

副会長	近年では、スケートボードが人気です。ある学校では、スケボーができる場所を造ってくださいという声もあります。スポーツライミングも人気です。時代とともに遊び方も変わっているので、そういったニーズの変化に対応できる遊び場があっても良いと思います。【意見】
会長	公園などの注意書きとして「できないこと」ではなく「やっていいこと」をメインに掲示している事例もあります。逆転の発想として、ネガティブな「できない」ではなく、ポジティブな「やっていいよ」をメッセージとして発信すると、創造的な施設利用につながると思います。【意見】
委員	「子どもの遊び場」について、昨今、公園や広場でのボール投げが禁止となっていることから、子どもたちの投げる力が弱くなっていると言われています。子どもが自由に遊べる場所が少なくなっていることから、既存施設の有効活用として、圏央道の高架下を活用して、スケボーができるようにしてはどうでしょうか。【意見】 子ども達の遊び場については、子どもの意見を聞くことも必要だと思います。【意見】
副会長	桶川市では、道の駅の整備を進めており、令和6年度の開業を予定しています。道の駅で皆さんが期待することは、魅力ある農産物の販売だと思います。以前、東京農大と意見交換する機会がありましたが、休耕地を活用し、新品種の野菜を開発することも地域活性化の一つになると思います。東京に近いという立地の強みを活かした新たな産業についても考えていくと良いと思います。【意見】
委員	道の駅について、地場産品を売ることの一つの案だと思います。圏央道は、流通面においても、企業の関心は高いと思います。また、川田谷地区は、耕作には適した土地と言われています。地産地消に加え、生産した農作物を全国に運ぶことも容易です。農業法人が大規模に農地を活用してくれると良いと思います。【意見】
会長	他にご意見がないようであれば、ここで閉じたいと思います。また、今日以降、何か意見等があれば3月4日（金）までに事務局までご連絡ください。 本日、委員の皆様から頂いたご意見を事務局で整理してください。次回は、今回の意見を基に更に議論を深めたいと思います。 以上をもちまして、第3回桶川市振興計画審議会を終了いたします。慎重なご審議ありがとうございました。
事務局	次回に向け、今回、委員の皆様から頂いたご意見を整理いたします。本日は、ありがとうございました。

ワールドカフェ実施結果概要

1 概要

日時 令和4年3月13日(日) 午前9時30分～正午

場所 桶川市役所 会議室303～305

参加者 14名(応募者 18名)

2 タイムスケジュール

時間	配分	内容	備考
8:30	-	会場入り・準備	・次項開場レイアウトより
9:15	-	開場・受付	・開会・挨拶:向井課長
9:30	20	開会・挨拶	・桶川市のまちづくりについて: 野原主任
9:35		桶川市のまちづくりについて	
9:50	90	ワールドカフェ:進行説明	・LB 進行
10:00		第1ターン	・各テーブルでテーマを設定し、テーマについて意見交換を行う。 ・ダンボールシートに記録メモを する。(LB スタッフ)
10:20		第2ターン	
10:40		第3ターン	
11:00		第4ターン	
11:20	35	<第1ターンのテーブルに戻る> ワーク① ※各テーブルで作業 各テーブルを回ったことをふまえ、10年後をみ すえて、桶川市に大切なこと、将来像について キーワード等を考える。	・各テーブルで左の内容について 検討する。 ・ダンボールシートに記録メモを する。(LB スタッフ)
11:40		ワーク② ※各テーブルで作業 大切にしたいキーワードを各テーブルでどれが 良いかシールでマークし、とりまとめ全体共有。	・ダンボールシートに記録したメモ に良いと思うキーワードにシール を貼る。
11:55	5	挨拶	・向井課長
12:00	-	閉会	

3 各テーブルのテーマ

4テーブルを以下のテーマに設定し、参加者は第1ターン～第4ターンまで巡回して各テーブルの意見交換に参加する。

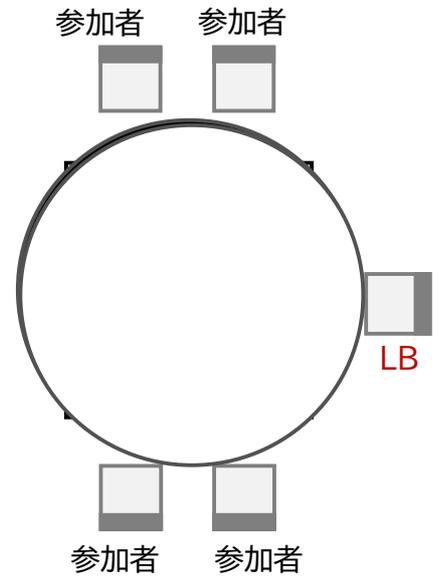
テーブル	テーブル A	テーブル B	テーブル C	テーブル D
テーマ	桶川市の良いところ、 大切なこと、将来に残 したいこと	桶川市のまちづくりにお いて、自分自身がやって みたいこと、できること	桶川市に新たに取り 入れたいこと、変えた こと	桶川市の良くないと ころ、課題と感じると ころ

4 ワーク

- ①ワールドカフェにより各テーマについてセッションした上で、改めて桶川市に大切な事は何かを考える機会として、10年後をみすえて、桶川市に大切なことや将来像についてキーワード等を出しあう。
- ②各テーブルでキーワードのどれが共感できるかシールによって投票する。

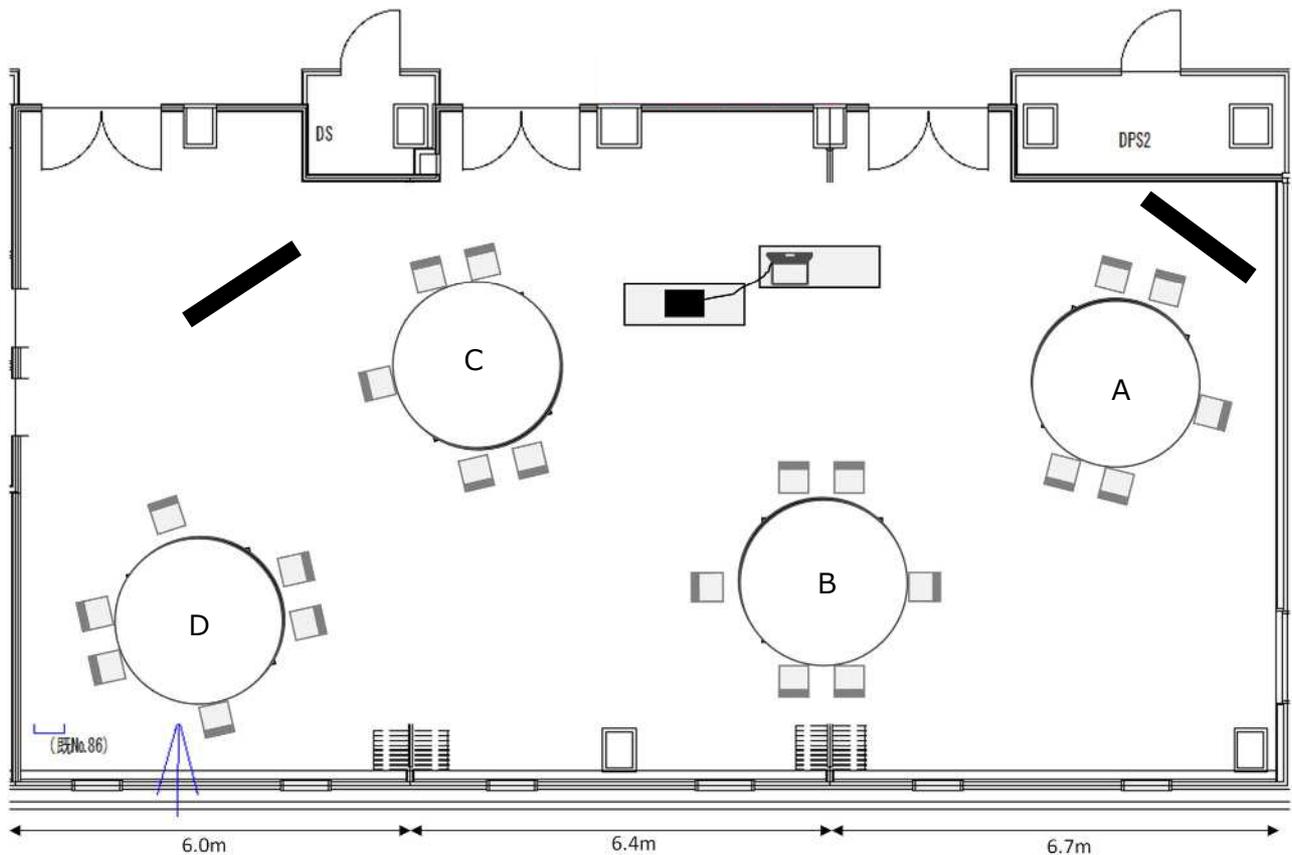
5 各テーブルの進め方

- ・ランドブレインが全体進行(ファシリテーター)。
- ・各テーブルにファシリテーターが議論の活発化を促すとともに、参加者の意見を記録する。
- ・記録はダンボールシートの上に直接又は付箋に記入していく。

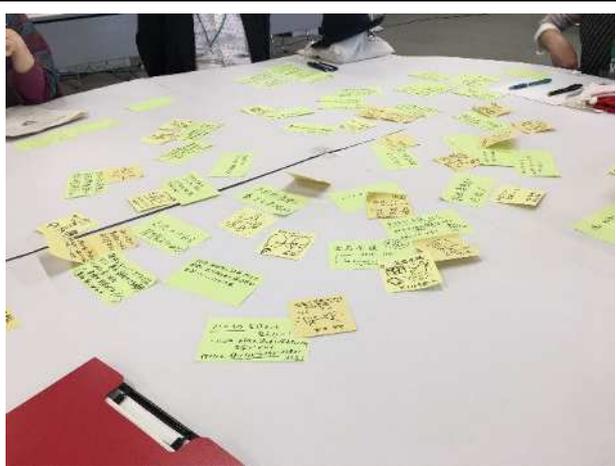


6 レイアウト

- ・4テーブル設定し、各テーブルに段ボールシート・筆記用具等を配置する。



7 ワールドカフェの様子



8 意見等の取扱い

ワールドカフェでいただいた御意見は、今後精査し、桶川市振興計画審議会等の資料として活用します。

主な意見等

テーブル A 桶川市のよいところ、大切にしたいこと、残したいこと

- ・桶川市ってこんなまち、こんな人のいるまちと言えるところにしたい
- ・若い子育て世代～地域にかかわるきっかけ
- ・笑顔、子ども、大人、ひとりひとりの役割活かせる場
- ・人口減少対策！なんでもある桶川

テーブル B 桶川市のまちづくりにおいて、自分自身がやってみたいこと、できること

- ・若者がやってみたいことを実践できる場
- ・ゴミを減らすこと
- ・桶川でできること(イベント、習い事)が分かる情報の一元化(プラットフォーム)
- ・子育て世代向けのイベントや集まる場
- ・交通インフラの充実
- ・生涯学習、学直し

テーブル C 桶川市に新たに取入れたいこと、変えたいこと

- ・ユニバーサルな配慮、だれひとりとのこさないまちづくり
- ・ゴミ資源など環境への配慮
- ・生涯学習、生涯スポーツなどの多様な展開
- ・身近な生活環境の改善
- ・文化のかほるまちづくり
- ・若者・子どもの参加しやすい機会づくり

テーブル D 桶川市の良くないところ、課題と感ずるところ

- ・桶川市の ID(アイデンティティ・顔)が欲しい
- ・市内3地区の発展のバランス
- ・弱者(子ども・高齢者・障害者)も安心して生活できる
- ・公民館みんなが使えるように
- ・老若男女みんなが集まれる場と企画
- ・チャレンジしにくい
- ・住民自治が少ない
- ・中心市街地の活性化
- ・交通の不便を解消

※各テーブルの総括や付箋を一部抜粋しています。言葉遣いは原文をなるべく生かしていますが、一部加筆しています。

高校生・大学生ワークショップ実施結果概要

1 概要

日 時 令和 4 年 3 月 18 日 (金) 午後 2 時 30 分～5 時 15 分

場 所 桶川市役所 会議室 402

参加者 男性 11 名 女性 5 名 計 16 名

(桶川高校 10 名 桶川西高 5 名 聖学院大学 1 名)

2 タイムスケジュール

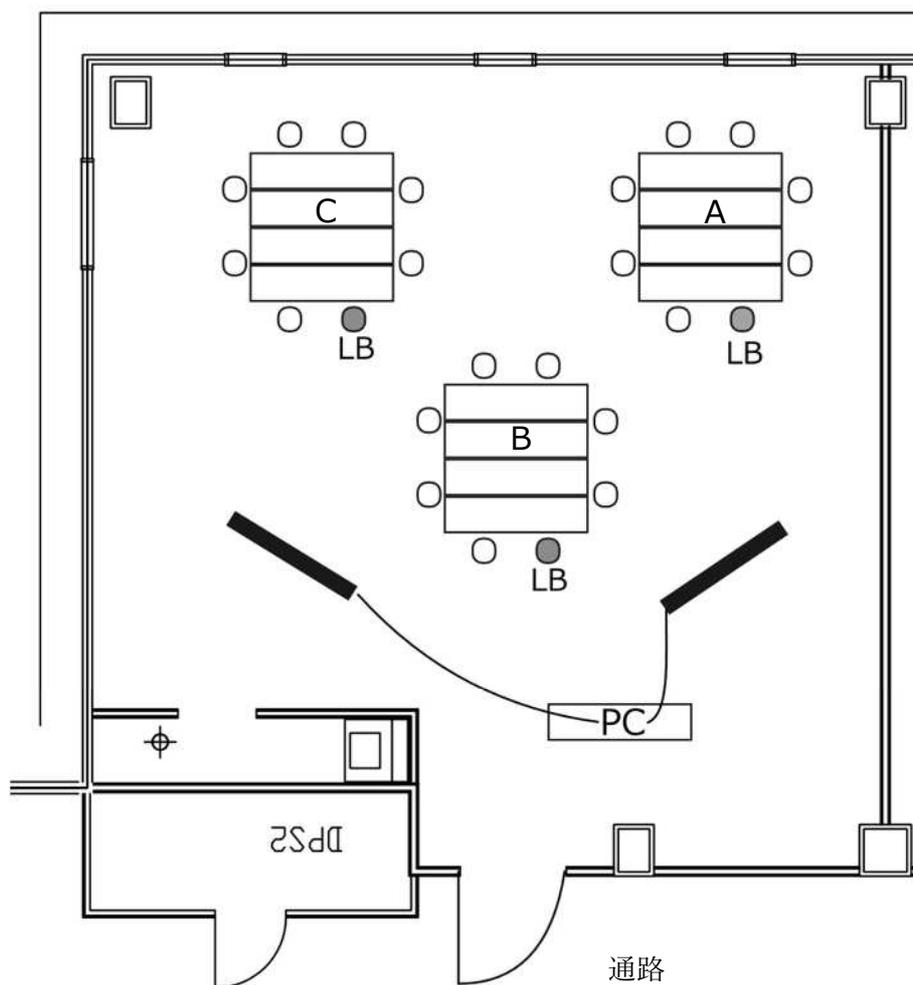
時間	内容	備考
14:30	集合→庁舎案内 (5F→2F→3F→4F)	桶川市にて庁舎案内 桶高：野原 西高：篠原係長
15:00	開会・挨拶	桶川市 (向井課長)
15:03	冒頭説明 (桶川市について)	桶川市 (担当)
15:10	ワークショップ開始・趣旨説明	ランドブレイン
15:15	アイスブレイク『10年後の自分』de 自己紹介 ・どんな仕事をしているか、どんな生活をしているか、どこに住んでいるか等を想像する。	※自己紹介を踏まえて 10 年後の自分を A 4 ペーパーに想像して書きテーブル内で共有する。
15:30	ワーク①「10年後の桶川を想像する」 ・桶川に住んでいると思う人はどんな過ごし方をしているか想像する。 ・桶川に住んでいないと思う人も含めて、どんな街になったら住みたくなるか想像する。 ・桶川市に住むとしたら、良いところをどう伸ばすか、悪いところをどう改善していくか、を考える。	※付箋に意見を記入し、A 0 模造紙に貼り、まとめていく。
16:10	発表 (3分程度×2or3 グループ)	
16:20	休憩 (5分)	
16:25	ワーク②「魅力ある 10 年後の桶川を考える」 ・若者が住みたくなる 10 年後の桶川になるためにはどんなアイデアが必要か考える。 ・アイデアを実現するためにはどうしたら良いか。自分ならどうするか自分事として考える。	※付箋に意見を記入し、A 0 模造紙に貼り、まとめていく。 赤紙：誰かにやってほしいこと 青紙：自分・仲間で行いたいこと 居場所についても意見聞く
16:55	発表 (5分程度×2or3 グループ) 写真撮影	質疑応答も含む
17:10	まとめ	ランドブレイン
17:15	挨拶・閉会	桶川市 (篠原係長)

3 ワークショップの進め方

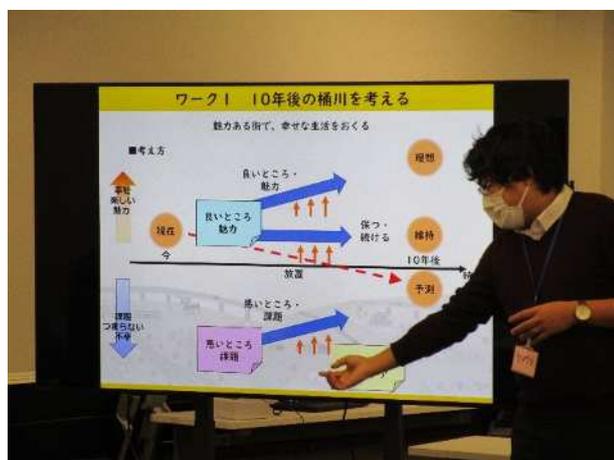
- ・ランドブレインが全体進行（ファシリテーター）。
- ・各テーブルのファシリテーターは、議論の活発化を促すとともに、参加者の意見をグルーピングする。
- ・ワーク①「10年後の桶川を想像する」で出された意見（桶川市の将来像やこんなまちになって欲しいという希望）について、ワーク②「魅力ある10年後の桶川を考える」の中でどうすれば実現できるか、実現するために自分は何ができるか問いかける。

4 レイアウト(会議室402)

- ・3テーブル設定し、各長机×4にA0模造紙と筆記用具等を配置する。



5 未来のまちづくりワークショップの様子



6 意見等の取扱い

ワークショップでいただいた御意見は、今後精査し、桶川市振興計画審議会等の資料として活用します。

主な意見等

桶川市の良いところ

- ・ 駅の周りの景色（イルミネーション）
- ・ 統一感がある（ベニバナのアピール）
- ・ 学校帰りに寄って帰れる施設がある
- ・ 東京などの都市ほどさわがしくなく、田舎ほど不便ではない、“ちょうどよいまち”
- ・ 交通の便がよい
- ・ 海や山がないのであまり災害の心配がいない
- ・ スマイルピアザ坂田で勉強＋運動ができる
- ・ 自然が豊か

桶川市の悪いところ

- ・ ゴミの不法投棄が多い
- ・ バスの本数が少ない
- ・ 道がせまい
- ・ 街灯が少ない
- ・ 若者が遊ぶところが少ない
- ・ 坂が多い
- ・ 桶川駅前（東口）の活気がない
- ・ 市のイメージが湧きにくい
- ・ 交通の便が悪い

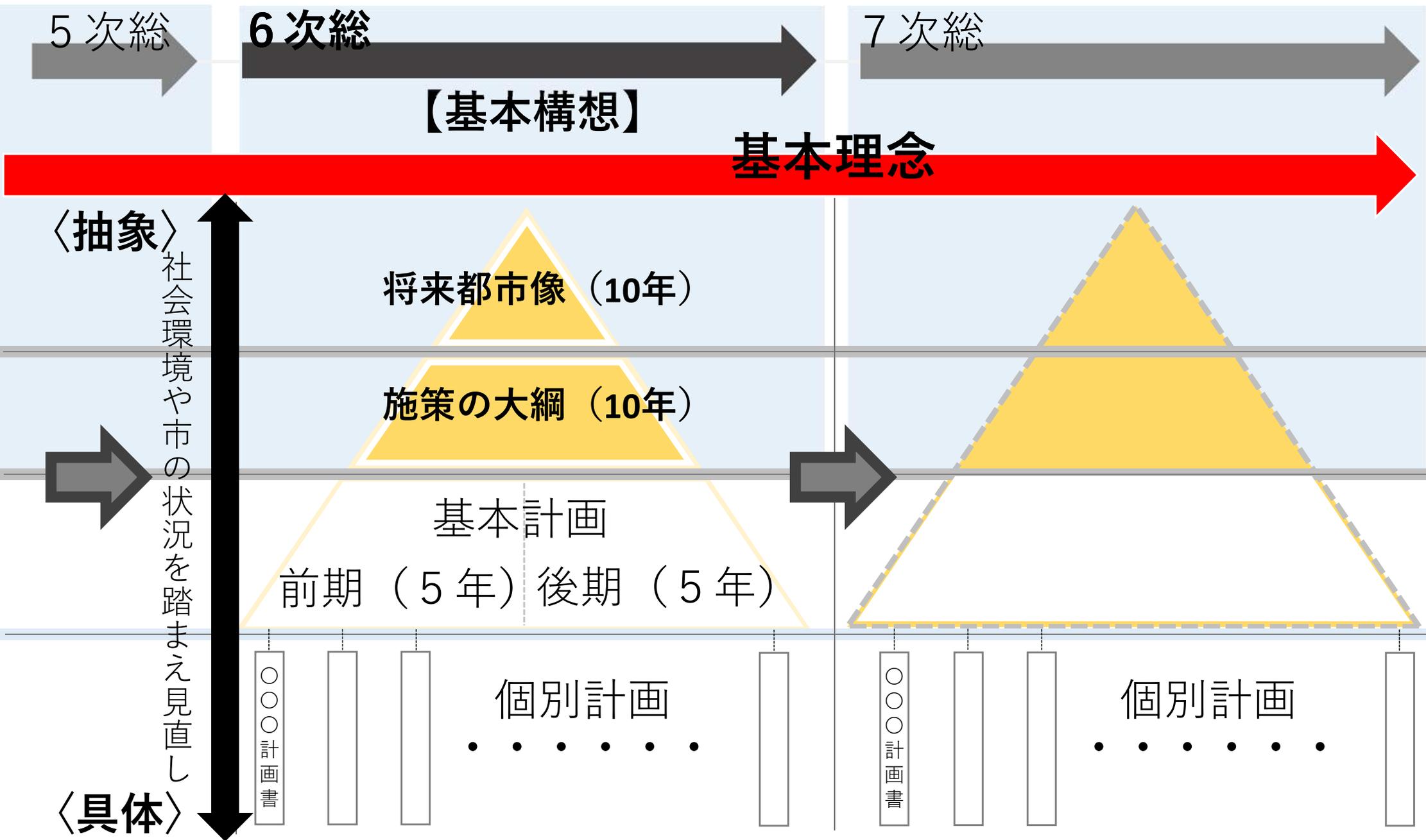
こんなまちになって欲しい

- ・ 桶川に行ってみたいといわれるようなまち
- ・ 子どもも大人も安心して暮らせるまち
- ・ 若者が多いまち
- ・ “ふだん”居心地のよいまち
- ・ “いざ”という時安心なまち
- ・ 子育てがしやすいまち

※各テーブルの総括や付箋を一部抜粋しています。言葉遣いは原文をなるべく生かしていますが、一部加筆しています。

総合振興計画の体系

【資料3】



基本理念の整理について

項目		一人ひとりを大切にすまち	安心・安全に住み続けられるまち	人と自然が共生するまち	活力に満ち人が集うまち	みんなで作るまち	その他の視点
現 行		<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとり ・尊厳や人権 ・個性や価値観を認め合う ・あらゆる世代が支え合う ・未来への夢と希望 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで ・安心して暮らす ・地域での見守り体制 ・防犯・防災体制の確立 ・気軽に移動 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に対する意識 ・ごみの減量化 ・資源の有効活用 ・循環型社会の形成 ・みどり豊かな美しい風景 ・次代に引き継ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通立地条件 ・交流・連携・共生 ・産業の振興 ・教育、市民生活の向上 ・地域のにぎわいや活力の創造 ・自立 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとり ・まちづくり ・自主的に参加 ・まちづくりの担い手 ・互いに協力 ・協働 	
審議会・市民参加等による意見	将来イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・弱い人を助け合えるまち ・ひとり一人の役割を活かせるまち ・誰一人取り残さないまち ・ここに住みたいと思えるまち ・若者が多いまち ・居心地のよいまち ・学生が楽しめるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らせるまち ・暮らしやすいまち ・安心して子育てができるまち ・いざというとき安心なまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑豊かなまち ・歩いて楽しいまち ・田園環境を活かしたまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある地域 ・若い人に共感してもらえるまち ・市外の人も訪れるまち ・賑やかな居場所 ・桶川に行ってみたいと言われるまち ・転入が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい人間関係 ・良好な地域関係 ・高齢者の活躍 ・老若男女が集えるまち ・個人がチャレンジしやすい ・文化のかおるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・IT化の推進 ・変化に柔軟に対応 ・持続可能なまち
	関連キーワード	<p>【多様性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯 ・子育て世代 ・若い世代 ・高齢者 ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン <p>【感情】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理的安全性 ・幸福度 ・健幸度 ・将来 ・希望 ・平和 <p>【居場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの居場所 ・学生が楽しめる場所をつくる ・子ども大人も楽しめる憩いの場 ・サードプレイス 	<p>【子育て・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境 ・子どもが育つ環境 ・教育環境 ・少子化に対応した教育 <p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害の心配が少ない ・地震や水害に強い ・防災 ・大宮台地 <p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の充実 ・医療 <p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の整備 ・土手の強化や拡幅 ・(駅周辺)入り組んだ道路の整備 ・歩道、自転車用道路の整備 ・街灯の整備 ・道の拡幅、道路整備 <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の免許返納を促したい ・交通不便の解消とセットで展開 ・公共交通やバスに限らず多様な移動支援 ・公共交通の充実 <p>【暮らし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空地や空家の有効活用 ・職住近接 ・身近な生活環境の改善 	<p>【脱炭素・エネルギー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボン ・ゼロカーボン社会 ・グリーン化 ・エネルギー源の環境配慮 <p>【自然環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の水質の浄化 ・緑を残して欲しい ・公園が不足する地域(JRの東側)の解消 ・緑のある景観の良い道路の整備 ・今ある自然を残す ・企業が農耕地を活用 ・新しい野菜 <p>【ゴミ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを減らす取組の市民運動化 ・ごみや資源活用などの環境配慮 ・ゴミのない綺麗なまち ・不法投棄ゼロ 	<p>【居場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの居場所 ・学生が楽しめる場所をつくる ・子ども大人も楽しめる憩いの場 ・サードプレイス ・楽しく遊べる場所 ・様々な働き方 ・サテライトオフィス ・アクティブシニア <p>【賑わい・産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活力 ・駅前の活性化 ・中心市街地の活性化 ・イベント情報の共有 ・生涯学習やスポーツなど多様な展開 ・電動キックボード ・地域のお祭りの充実 ・紅花や特産品のイメージづくり ・東京に近いという立地 ・新たな産業 ・スポーツの聖地 ・フィルムコミッション <p>【施設(ハード)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅 ・図書館の機能充実・広域連携 ・企業誘致(工場、商業施設) ・空き店舗の有効活用 ・耕作放棄地の解消や活用 ・コンセントやwifiの充実 <p>【広域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域の視点 ・圏域 	<p>【活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見を大人が受け取る場 ・ワールドカフェなど話し合いの場づくり ・意欲のある人の活躍・力を活かす ・若者や子どもが参加しやすいまち ・若い人や外からの目線で見つめ直す <p>【繋がり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる場づくり(居場所) ・地域のつながりづくり ・拠点を活かしたコミュニティづくり <p>【場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習のすすめ、学び直し ・宿場町、寺社、緑を活かす ・穴場スポットの創出 ・新しい場所づくり ・学校同士の交流イベント ・ボランティアの参加 ・楽しい交流会 ・ユースセンターの整備 ・広場の活用 <p>【桶川のイメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桶川の都市イメージづくり (桶川ってこんなまちと言えるよう) (桶川ってこんな人がいるまち、とも) 	<p>【デジタル・新しい生活様式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5G ・テレワーク ・AI ・society5.0 ・革新的な技術 ・デジタル化 ・スマートシティ ・DX ・SNSによるシティプロモーション ・ネットメディアの活用 <p>【健康・幸せ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs ・生きる力 <p>【次期計画の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全市や地域のビジョンづくり ・分野間連携の取組みや調整 ・目標値の決定と共有 ・目的意識のある施策展開 ・継続の仕組みづくり ・地域間のバランスの取れた整備 ・市街化調整区域の制限の見直し ・人を集める努力

次期総合振興計画 基本理念案

1 一人ひとりを大切にすまち

多様性・健幸	現行	市民一人ひとりの尊厳や人権を尊重し、個性や価値観を認め合う社会をつくるとともに、あらゆる世代がともに支え合い、未来への夢と希望を持って暮らすことができるまちづくりを進めます。
	案	一人ひとりの尊厳や人権を尊重し、個性や価値観など多様性を認め合う社会をつくるとともに、あらゆる世代が思いやりを持って共に支え合い、未来への夢と希望を持って暮らすことができる共生のまちづくりを進めます。

2 安心・安全に住み続けられるまち

居住性	現行	子どもから高齢者まで安心して暮らすことができるよう、地域での見守り体制や行政による支援を整えるとともに、防犯・防災体制の確立を進め、気軽に移動し、施設などを利用できるまちづくりを進めます。
	案	防災や減災、防犯に取り組みまちの安全性を高めるとともに、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくりを進めます。

3 人と自然が共生するまち

自然	現行	一人ひとりが環境に対する意識を高めることで、ごみの減量化や資源の有効活用を図りながら循環型社会の形成に努めるとともに、里地・里山などのみどり豊かな美しい風景を次代に引き継ぐことができるまちづくりを進めます。
	案	一人ひとりが環境に対する意識を高めることで、脱炭素や循環型の社会の形成を目指すとともに、みどり豊かな美しい風景を次代に引き継ぐことができるまちづくりを進めます。

4 人が集い活気に満ちたまち

交流・連携	現行	交通立地条件をいかし、市内外、世代間を問わず、市民、市民公益活動団体、企業及び事業者等、市（行政）との交流・連携・共生を深めることで、産業の振興や教育、市民生活などの向上を図り、地域のにぎわいや活力を創造し、自立できるまちづくりを進めます。
	案	市民、市民公益活動団体、企業、教育機関等、様々な主体が交流と連携を深めることで、地域の賑わいを創造するとともに、広域交通の要衝としての産業振興など、活気に満ちたまちづくりを進めます。

5 みんなでつくるまち

地域力	現行	市民一人ひとりが主役となり、まちづくりに自主的に参加できる機会をつくり、自らがまちづくりの担い手と実感できるようにするとともに、市民、市民公益活動団体、企業及び事業者等、市（行政）がそれぞれの役割と責任を自覚し、互いに協力し合い、みんなでつくる、協働のまちづくりを進めます。
	案	市民、市民公益活動団体、企業、教育機関等、様々な主体が、担い手としてまちづくりに進んで参加できる機会をつくり、協働によるみんなが主役のまちづくりを進めます。

第1章 目的と期間

桶川市第五次総合振興計画における基本構想は、本市の将来の姿を示す将来像を掲げるとともに、その実現に必要なとされる施策の大綱を定めるものです。

基本構想の計画期間は、平成23年度（2011年）から平成32年度（2020年）までの10年間とします。

第2章 基本理念

桶川市第五次総合振興計画基本構想の基本理念は、本市のまちづくりを行っていく上で最も重要な基本姿勢であり、市民と行政が共有する基本的な考え方です。

基本理念としては、次の5つを掲げます。

一人ひとりを大切にするまち

市民一人ひとりの尊厳や人権を尊重し、個性や価値観を認め合う社会をつくるとともに、あらゆる世代がともに支え合い、未来への夢と希望を持って暮らすことができるまちづくりを進めます。

安心・安全に住み続けられるまち

子どもから高齢者まで安心して暮らすことができるよう、地域での見守り体制や行政による支援を整えるとともに、防犯・防災体制の確立を進め、気軽に移動し、施設などを利用できるまちづくりを進めます。

人と自然が共生するまち

一人ひとりが環境に対する意識を高めることで、ごみの減量化や資源の有効活用を図りながら*循環型社会の形成に努めるとともに、里地・里山などのみどり豊かな美しい風景を次代に引き継ぐことができるまちづくりを進めます。

活力に満ち人が集うまち

交通立地条件をいかし、市内外、世代間を問わず、市民、*市民公益活動団体、企業及び事業者等、市（行政）との交流・連携・共生を深めることで、産業の振興や教育、市民生活などの向上を図り、地域のにぎわいや活力を創造し、自立できるまちづくりを進めます。

みんなで作るまち

市民一人ひとりが主役となり、まちづくりに自主的に参加できる機会をつくり、自らがまちづくりの担い手と実感できるようにするとともに、市民、市民公益活動団体、企業及び事業者等、市（行政）がそれぞれの役割と責任を自覚し、互いに協力し合い、みんなで作る、協働のまちづくりを進めます。

* 循環型社会：環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資料をできるだけ少なくし、それらを有効に使うことによって、廃棄されるものを最小限に抑える社会のこと。

* 市民公益活動団体：市民が自発的な参加によって行っている公益性のある非営利の活動をしている団体のこと。ボランティア団体やNPO法人、自治会などが該当する。

第5章 施策の大綱

基本理念に基づいて掲げた将来像を実現するために、まちづくりの課題を踏まえた、7つの施策の大綱を定めました。

「参画・協働」及び「行財政運営」の大綱については、他5つの大綱を実現するために不可欠であり、まちづくりを支える基盤として位置づけました。



桶川市振興計画審議会 委員名簿

NO.	団体名（条例第3条第2項の区分）	氏名
1	桶川市議会議員（1号委員）	いわさき たかし 岩崎 隆志
2	桶川市議会議員（1号委員）	にいじま みつあき 新島 光明
3	桶川市議会議員（1号委員）	おかやす まさひこ 岡安 政彦
4	桶川市青少年相談員協議会（2号委員）	いのうえ ごろう 井上 悟郎
5	桶川市青少年相談員協議会（2号委員）	あきやま りんか 秋山 梨花
6	桶川市教育委員会（3号委員）	みずむら じつお 水村 実男
7	桶川市農業委員会（4号委員）	あらい まさかず 荒井 昌和
8	桶川市民生委員・児童委員協議会（5号委員）	なかむら ふみお 中村 文雄
9	桶川市商工会（5号委員）	しぶや みつあき 澁谷 光章
10	桶川市区長会（5号委員）	よしだ こうぞう 吉田 耕造
11	日本大学理工学部（6号委員）	おおさわ まさはる 大沢 昌玄
12	早稲田大学環境総合研究センター（6号委員）	ながい ゆうじ 永井 祐二